

## 相談支援従事者研修等に係る令和2年度以降の実施体制について

### 1 研修制度の見直しについて

相談支援従事者及びサービス管理責任者・児童発達支援管理者（以下「サービス管理責任者等」）の研修制度については、別紙のとおり、カリキュラムの充実等大幅な見直しが行われた（令和元年度から順次施行）。

これに伴い、本県においても、①人員・会場の確保、②開催経費の増という課題に対応する必要がある。更に、本県では、受講申込者が定員を超過している状態であり、③受入枠の拡大が求められている。

こうした課題に対応し、研修事業を充実させるため、研修スケジュールの見直し、参加者負担金の導入、直営から民間事業者への委託・指定事業者への段階的切り替えを進めていくこととしたい。

### 2 他県の実施状況について

本年度、他県の研修事業の実施状況を調査した結果は、別紙のとおり。

（全体の傾向）

- ・実施方法については、委託、指定事業者への切替えが進んでいる。
- ・費用については、実施方法毎に金額に幅があるが、参加者負担があるところが多い。

### 3 令和2年度における見直の方向性について

- （1）「相談支援従事者初任者研修」は、これまで同時開催としていたサービス管理責任者等になるための講義部分（2日課程）を分離し、「サービス管理責任者等基礎研修」とパッケージ化する。

※相談支援従事者初任者研修の講義の一部が、サービス管理責任者等の受講すべき講義と重複しているため、同時開催としていた。

- （2）年間スケジュールは、申込者の混乱を避けるため、可能な限り各研修の募集・実施時期が重複しないように調整する。

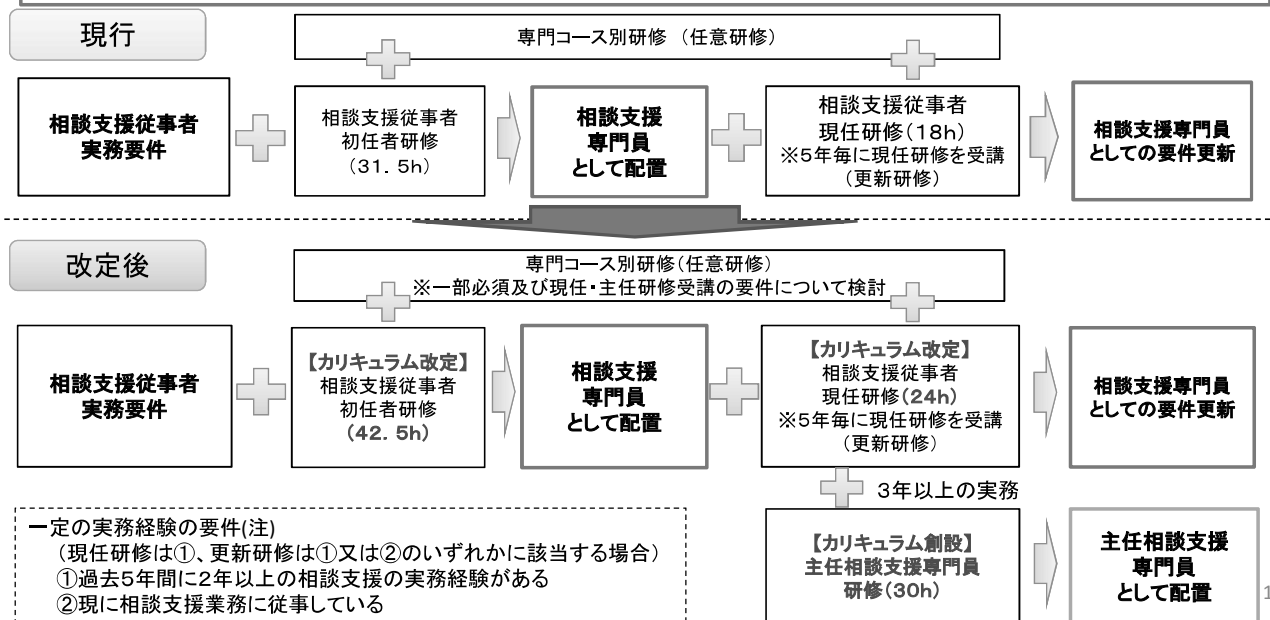
※特に「サービス管理責任者等基礎研修」の実施時期は、令和3年度以降に実施する「実践研修」の受講資格を視野に入れて、実施時期を検討。

- （3）参加者負担金については、他県の状況等を参考として、額を設定する。

- （4）委託・指定事業者への移行については、研修日程が短く、参加者数の規模が大きな「サービス管理責任者等更新研修」を最優先に、受け皿となる団体を検討する。

# 相談支援専門員の研修制度の見直しについて

- 意思決定支援への配慮、高齢障害者への対応やサービス等利用計画の質の向上、障害福祉サービス支給決定の適正化等を図り、質の高いケアマネジメントを含む地域を基盤としたソーシャルワークを実践できる相談支援専門員を養成するため、**現行のカリキュラムの内容を充実する。**
- 実践力の高い相談支援専門員養成のために、実践の積み重ねを行いながらスキルアップできるよう、現任研修(更新研修含む)の受講に当たり、相談支援に関する**一定の実務経験の要件(注)**を追加。(※旧カリキュラム受講者は初回の更新時は従前の例による。)
- さらに、地域づくり、人材育成、困難事例への対応など地域の中核的な役割を担う専門職を育成するとともに、相談支援専門員のキャリアパスを明確にし、目指すべき将来像及びやりがいをもって長期に働ける環境を整えるため、**主任相談支援専門員研修を創設。**



## 相談支援専門員研修の告示別表(案)

初任者研修(現行)		時間数
講義	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法も概要並びに相談支援従事者の役割に関する講義	6.5h
	ケアマネジメントの手法に関する講義	8h
	地域支援に関する講義	6h
演習	ケアマネジメントプロセスに関する演習	11h
合計		31.5h

現任研修(現行)		時間数
講義	障害福祉の動向に関する講義	2h
	地域生活支援事業に関する講義	
	相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義	2h
	協議会に関する講義	2h
演習	ケアマネジメントに関する演習	12h
合計		18h

初任者研修(見直し後)		時間数
講義	障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者)の役割に関する講義	5h
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義	3h
	相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義	3h
講義及び演習	ケアマネジメントプロセスに関する講義及び演習	31.5h
実習	相談支援の基礎技術に関する実習	—
合計		42.5h

現任研修(見直し後)		時間数
講義	障害福祉の動向に関する講義	1.5h
	相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義	3h
	人材育成の手法に関する講義	1.5h
講義及び演習	相談援助に関する講義及び演習 コミュニティワーク	18h
合計		24h

**新設**

主任相談支援専門員研修		時間数
講義	障害福祉の動向と主任相談支援専門員研修修了者の役割と視点に関する講義	3h
	運営管理に関する講義	3h
講義及び演習	相談支援従事者の人材育成に関する講義・演習	13h
	地域援助技術に関する講義・演習	11h
合計		30h

## サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修の見直しについて

- 一定期間毎の知識や技術の更新を図るとともに、実践の積み重ねを行いながら段階的なスキルアップを図ることができるよう、研修を**基礎研修、実践研修、更新研修**と分け、実践研修・更新研修の受講に当たっては、**一定の実務経験の要件(注)**を設定。  
※ 平成31年度から新体系による研修開始。旧体系研修受講者は平成35年度末までに更新研修の受講が必要。
- 分野を超えた連携を図るための共通基盤を構築する等の観点から、サービス管理責任者研修の全分野及び児童発達支援管理責任者研修の**カリキュラムを統一し、共通で実施**する。  
※ 共通の知識及び技術に加えて各分野等において必要な知識や技術については、新たに専門コース別研修を創設して補充。
- このほか、**直接支援業務による実務要件を10年⇒8年に緩和**するとともに、基礎研修受講時点において、サービス管理責任者等の一部業務を可能とする等の見直しを行う。  
※ 新体系移行時に実務要件を満たす者等について、一定期間、基礎研修受講後にサービス管理責任者等としての配置を認める経過措置を予定。

### 現行

サービス管理責任者  
実務要件  
児童発達支援管理  
責任者実務要件

相談支援従事者初任者研修  
講義部分の一部を受講(11.5h)  
サービス管理責任者等研修共通  
講義及び分野別演習を受講(19h)

サービス管理  
責任者  
児童発達支援  
管理責任者  
として配置

### 改定後

【一部緩和】  
サービス管理責任者  
実務要件  
児童発達支援管理  
責任者実務要件  
※ 実務要件に2年満たない  
段階から、基礎研修の受講可

【改定】基礎研修  
相談支援従事者初任者研修  
講義部分の一部を受講(11h)  
サービス管理責任者等研修(統一)  
研修講義・演習を受講(15h)

【新規創設】  
サービス  
管理責任者等  
実践研修  
(14.5h)  
OJT  
一部業務  
可能

サービス管理  
責任者  
児童発達支援  
管理責任者  
として配置

【新規創設】  
サービス  
管理責任者等  
更新研修  
(6h程度)  
※5年毎に受講

(注)一定の実務経験の要件

- ・実践研修:過去5年間に2年以上の相談支援又は直接支援業務の実務経験がある
- ・更新研修:①過去5年間に2年以上のサービス管理責任者等の実務経験がある  
又は②現にサービス管理責任者等として従事している

【新規創設】専門コース別研修(任意研修)

3

## サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修の告示別表(案)

相談支援従事者初任者研修講義(現行)			時間数
講義	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の概要並びに相談支援従事者の役割に関する講義		6.5h
	ケアマネジメントの手法に関する講義		2h
	地域支援に関する講義		3h
合計			11.5h

共通講義及び分野別演習(現行)			時間数
講義	サービス管理責任者の役割に関する講義		6h
	アセスメントやモニタリングの手法に関する講義		3h
演習	サービス提供プロセスの管理に関する演習		10h
合計			19h

基礎研修(うち相談支援従事者初任者研修講義部分)(見直し後)			時間数
講義	1 障害者の地域支援と相談支援従事者(サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者)の役割に関する講義		5h
	2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の概要並びにサービス提供のプロセスに関する講義		3h
	3 相談支援におけるケアマネジメント手法に関する講義		3h
合計			11h

基礎研修(うち研修講義、演習部分)(見直し後)			時間数
講義	1 サービス管理責任者・児童発達管理責任者の基本姿勢とサービス提供のプロセスに関する講義		7.5h
演習	2 サービス提供プロセスの管理に関する演習		7.5h
合計			15h

### 新設

実践研修			時間数
講義	1 障害福祉の動向に関する講義		1h
	2 サービス提供に関する講義及び演習		6.5h
演習	3 人材育成の手法に関する講義及び演習		2.5h
	4 多職種及び地域連携に関する講義及び演習		3.5h
合計			14.5h

更新研修			時間数
講義・演習	1 障害福祉の動向に関する講義		1h
	2 サービス提供の自己検証に関する演習		5h
	3 サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習		7h
合計			13h

※ 実践研修は平成31年度の2年後より実施

※1 更新研修については、平成31年度から実施

※2 当面は1及び2もしくは1及び3の項目のみの実施でも可とする

4

## 研修の受講申込と受講決定者数の状況（直営分）

### 1 相談支援従事者初任者研修

	H27			H28			H29				H30		
	合計	区分1	区分2	合計	区分1	区分2	合計	区分1	区分2	区分3	合計	区分1	区分2
申込者数	1,165	757	408	1,246	608	638	1,436	609	787	40	1,502	648	854
受講決定者数	861	553	308	852	401	451	966	436	503	27	988	356	632
割合	73.9%	73.1%	75.5%	68.4%	66.0%	70.7%	67.3%	71.6%	63.9%	67.5%	65.8%	54.9%	74.0%

・区分1…5日課程（相談支援専門員になる方対象。5日間の講義・演習に全て参加する）

・区分2…2日課程（サービス管理責任者等になる方対象。2日間の講義のみ参加する）

\*H29の区分3は、介護保険の介護支援専門員を対象とした3日間のコース。

### 2 相談支援従事者現任研修

	H27	H28	H29	H30
申込者数	242	348	461	456
受講決定者数	173	259	438	431
割合	71.5%	74.4%	95.0%	94.5%


### 3 サービス管理責任者研修

	H27			H28			H29			H30		
	申込者数	受講決定者数	割合	申込者数	受講決定者数	割合	申込者数	受講決定者数	割合	申込者数	受講決定者数	割合
介護	214	151	70.6%	222	146	65.8%	223	143	64.1%	188	149	79.3%
身体	17	17	100.0%	14	14	100.0%	14	14	100.0%	22	4	18.2%
知的・精神	174	150	86.2%	207	141	68.1%	198	141	71.2%	213	136	63.8%
就労	250	158	63.2%	259	191	73.7%	274	225	82.1%	267	216	80.9%
児童	296	211	71.3%	389	273	70.2%	398	306	76.9%	447	310	69.4%
合計	951	687	72.2%	1,091	765	70.1%	1,107	829	74.9%	1,137	815	71.7%

\*児童は2回、就労はH28から2回の合計

## ○相談支援従事者初任者研修における5日課程と2日課程

（平成31年度の例）

		講義 1 日目	講義 2 日目	講義 3 日目	演習 1 日目	演習 2 日目
		会場：千葉市民会館			会場：千葉県教育会館	
相談支援従事者用  ( 5 日課程)	サービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者用 ( 2 日課程)	講義（ 2 日間） 共通  総合支援法の内容、 ケアマネジメントの 手法（実践を除く）、 障害者の地域支援等		講義 （ 1 日間）  ケアマネジメン トの実践	演習（ 2 日間）  サービス等利用計画の作成演習	
				 サービス管理責任者等研修受講へ		